

# 刊行にあたって

学校法人 五島育英会

理事長 **安達 功**

記念誌「熱誠」の刊行にあたり、五島育英会を代表してご挨拶申し上げます。

本法人は、昭和30年、東急グループを創設した五島慶太が初代理事長となり、学校法人武蔵工業大学と学校法人東横学園の合併により、発足いたしました。

五島慶太は、事業家としての長い経験から「事業は人なり」の哲学を持ち、その重要性を実感しており、又自身教育者として教壇に立った経験もありました。人づくりの原点はまさに教育にありとの強い信念を持ち、すでに戦前の昭和14年には、みずから東横学園の前身である東横商業女学校を創立し、真の総合学園の実現に向けて着実にその歩を刻もうとしておりました。そして、この東横商業女学校を出発点とし、前述のとおり昭和30年本法人を設立した後、いくつかの学校法人との合併・吸収を行いながら、紆余曲折を経て、現在、大学から幼稚園までの8校の学校に、約12,000人の学生・生徒等が

学ぶ東京都市大学グループへと発展を遂げた次第でございます。

私どもは、東京都市大学グループの祖である五島慶太が築き、作り上げてきた歴史と伝統の重さを充分認識し、その遺志である、社会に適應できる、個人として高い力量を持った質の良い人材を育成することを私どもの社会的使命として、より魅力ある学校づくりに邁進していかなければなりません。

この発刊は、単に創設者の功績をたたえるものでも、偉人伝として継承していこうとするものではありません。創設者がどのような「想い」「こころざし」をもって学校を設立し、経営してきたのか、改めて認識し、その思想を共有することによって職員が一丸となって、より良い東京都市大学グループを目指すことを願うものであります。都市大グループとは何か。この存立基盤の原点とアイデンティティを学生・生徒等のみならず教職員全員が共有していただきたいと考えます。

## 刊行によせて

東京都市大学グループ  
総長 **中村英夫**

五島慶太翁が亡くなって半世紀以上が過ぎ、その名を知る人も数少なくなってきた。翁の支援を何らかの形で受けた五島育英会傘下の学校の関係者と言えど翁の業績や人となりをよく知る人は今では多くない。また、世間で五島慶太翁の名を記憶している人は、その大半の認識は鉄道を中心とした大コンツェルンを創った稀代の辣腕経営者であるという認識とともに、一方では強引な企業買収を行ない強盗慶太のあだ名をつけられた事業家であって、悪名と言えるような印象さえあるのではないかと思われる。

かく言う私も割合最近までもそうした世間のイメージのある部分を五島慶太翁に持っていたと言わねばならない。1958年に大学を出て就職した先は東京地下鉄、当時の帝都高速度交通営団であり、その中堅社員の多くは1940年代に五島慶太翁の率いる東京高速鉄道の株式買い占めにより、その傘下に飲み込まれた東京地下鉄会社の社員であった方々であった。したがって、そこで聞く翁は横暴な事業家との印象を与えるものであった。

しかし、本書の原稿を詳細に読み、翁の書かれた文章、残された講演の肉声の録音を聴くと、強力な事業家としての翁が同時に教育に熱意を持ち、国民生活の向上を強く期待し、国家100年の発展を熱望する理想家であり、伝統文化と芸術を愛する文化人であったことが改めて理解できる。

教育や文化活動へ強い関心を持った翁の遺志は、その後の東急グループの各学校への支援のほか、グループのいくつもの財団が行う文化芸術の振興事業や文化ホールの経営、さらには留学生支援の活動などの形で今に残されていると言える。

2009年3月30日に渋谷のホテルで開かれた東京都市大学グループ発足の式典、それに続くオーチャードホールでのベートーベンの第9交響曲を中心とする大コンサートは、創設や発展の経緯はそれぞれ異なるが慶太翁の支援に基づき五島育英会により経営されている8つの学校が、1つのグループとして多様な協力へ向けて新たに歩み出す大きなエポックであった。本書の中で明らかにされているように傘下の各学校をこのような一つの学園として統合することは教育を通じて社会の発展を目指した慶太翁が強く望んでいたものであった。東横学園女子短期大学の発展的改組に始まり、武蔵工業大学の東京都市大学への改称、それに続く五島育英会傘下の各学校の東京都市大学付属校化へと進み、この時を期してこれらの学校は1つの総合学園となり、ここに慶太翁の考えた学園が形の上で完成したことになった。

翁は総合学園が形の上だけでなく、内容においても我が国有数の教育・研究の場になることを期待していたことは本書の中で示された翁の言葉を見るまでもなく明らかである。また、本書に描かれている翁の事業の長期的な構想とリスクを恐れない実行をみると、将来を見据えての研究・教育分野の拡充、国際的な人材養成、施設・設備の充実など、多くの分野にわたる大きな構想とその実現への努力がいま私たちに求められていると言えよう。本書の刊行を機に翁の理想がここで再び見つめ直され、本学が一層、世間から高く評価され、社会に貢献する学園となるよう、関係者一同が力を合わせて前向きに進みたいと願っている。

# 刊行によせて

学校法人 亜細亜学園

理事長 上條清文

記念誌「熱誠」刊行にあたり、同じ東急グループの学校法人であり、五島慶太氏を通じて浅からぬ縁のある亜細亜学園を代表してご挨拶申し上げます。

昭和31年、亜細亜学園の創立者である太田耕造学長は、当時学園の窮境を打開し、発展向上の道はいかにして実現できるかと苦慮し、協力してくれる実業家を探しておりましたが、東京急行電鉄株式会社五島慶太会長（当時）との面談の結果、五島会長は亜細亜学園の経営引き受けを快諾され、理事長へ就任されました。以降それまで財政難から中止されていた校舎建築が進み、その後本学園が急速な発展を遂げるスタートとなりました。五島会長はまさに本学園の中興の祖となられたわけでございます。

太田学長は、のちに、「五島氏は計算主義に徹した人であったが、氏の計算主義は機械主義的計算ということではなく、先ず人間であることが第一前提の計算主義で、人間の能力の限度を知ってのことであ

ったものと思う。人の最善、最大を尽し、しかも至誠をかたむけて事に当たれということである。」又、一方で「氏は『夢見る人』であった。（中略）希望があり、夢がある。計算に計算外の夢を織り込むことが大事であると思う。五島氏はこれが化体者であった。」と語っておられます。（「亜細亜学園50年」より）

五島慶太会長が教育事業に情熱を傾けてこられたのは、戦後混乱期から高度成長期に向けて資源も何もない我が国が、よって立つところは人材の育成、即ち教育しかないと考え、若者が我が国の発展に大きく貢献し、世界に冠たる日本となることを「夢見た」からに違いありません。

この刊行によって、本学園にとっても深いかわりをもたれる五島慶太翁の教育事業の足跡やその思想にふれることができるのは、誠に喜ばしいことです。

本発刊を心よりお祝い申し上げます。

## 凡例

1. 本文は原則として常用漢字、新仮名づかいによった。
2. 引用文の場合は原文を尊重したが一部常用漢字、新仮名づかいに直した。
3. 資料に表記されている漢数字は算用数字に直した。
4. 年号については1980（昭和55）年のように併記した。
5. 敬称は特別な場合を除き省略した。

# 目次

東京都市大学グループの祖・五島慶太翁生誕130年記念誌

# 熱誠

## 序

|         |                    |    |
|---------|--------------------|----|
| 刊行にあたって | 学校法人五島育英会 理事長 安達 功 | 17 |
| 刊行によせて  | 東京都市大学グループ 総長 中村英夫 | 18 |
| 刊行によせて  | 学校法人亜細亜学園 理事長 上條清文 | 19 |

## 第1部 五島慶太翁の教育事業

### 第1編 東横学園 1937(昭和12)年～1957(昭和32)年

|   |    |
|---|----|
| 第1章 慶太翁が東横学園を創立                                 | 34 |
| 第1節 慶太翁の教育への情熱                                  | 34 |
| 第2節 1937(昭和12)年業績                               | 35 |
| 第3節 1938(昭和13)年業績                               | 41 |
| 1 学園創立の準備                                       |    |
| 第4節 1939(昭和14)年業績                               | 43 |
| 1 東横商業女学校開校式辞と慶太翁の建学の精神                         |    |
| 第5節 1940(昭和15)年～1944(昭和19)年業績                   | 51 |
| 1 東横商業女学校を東横女子商業学校と改称<br>—財団法人東横学園理事長に五島慶太翁が就任— |    |
| 2 創立記念日、校歌制定、体育大会、臨海学校                          |    |
| 3 戦時下の学園生活                                      |    |
| 第6節 1945(昭和20)年業績                               | 55 |
| 1 空襲、疎開、勤労働員                                    |    |
| 第2章 戦後の変遷と新教育                                   | 57 |
| 第1節 1946(昭和21)年業績                               | 57 |
| 1 戦後の窮乏期は後援会が支援                                 |    |
| 第2節 1947(昭和22)年業績                               | 58 |
| 1 新憲法下学制改革6・3・3制実施へ                             |    |
| 2 東横女子商業学校から「等々力中学校」へ改称<br>—区の委託学校として発足—        |    |
| 3 東横女子商業学校内に「東横洋裁学院」を開設                         |    |
| 4 「父母と教師の会」発足                                   |    |

|  |    |
|--|----|
| 第3節 1948(昭和23)年業績                                | 60 |
| 1 「東横学園高等学校」の設置                                  |    |
| — 勤労学生のための夜間共学部も併設 —                             |    |
| 第4節 1949(昭和24)年業績                                | 60 |
| 1 等々力中学校を「東横学園中学校」に改称                            |    |
| — 区委託学校を辞退し、私学の道を歩む —                            |    |
| 2 東横学園高等学校の夜間部を廃止                                |    |
| — 東横洋裁学院の廃校 —                                    |    |
| 3 東横学園創立10周年記念式典                                 |    |
| — 三笠宮同妃両殿下のご臨場 —                                 |    |
| 4 創立10周年を機に施設・設備を改善、職員給与も改善                      |    |
| 第5節 1950(昭和25)年業績                                | 63 |
| 1 制服・校章を制定                                       |    |
| 2 体育・精神活動の強化を図る                                  |    |
| 第6節 1951(昭和26)年業績                                | 64 |
| 1 PTAの献身的努力で25mプール完成                             |    |
| 第7節 1952(昭和27)年業績                                | 65 |
| 1 入学者増に対応して校舎を増築                                 |    |
| 第8節 1953(昭和28)年業績                                | 66 |
| 1 音楽室・図書室増築、庭球コート2面が完成                           |    |
| 2 東横学園中学高校が軟式庭球、水泳で活躍                            |    |
| 3 財団法人から学校法人東横学園へ                                |    |
| 4 五島慶太会長の胸像製作始まる                                 |    |
| 第9節 1954(昭和29)年～1957(昭和32)年業績                    | 67 |
| — 東横学園の発展時代へ(幼稚園から大学まで) —                        |    |
| 1 1954(昭和29)年 — 軽井沢夏季学校を開設 —                     |    |
| 2 1955(昭和30)年 — 武蔵工業大学と合併、東横学園女子短期大学開学準備、幼稚園設置 — |    |
| 3 1956(昭和31)年 — 東横学園女子短期大学の開学と一貫教育の完成 —          |    |
| 4 1957(昭和32)年 — さらなる東横学園の飛躍へ —                   |    |
| 5 慶太翁教育理念の実践                                     |    |
| 6 校章・校旗・校歌等                                      |    |

## 第2編 武蔵工業大学前史

1929(昭和4)年～1954(昭和29)年

|  |    |
|--|----|
| 第1章 五島慶太翁と武蔵工業大学の縁                         | 86 |
| 歴史・伝統と慶太翁                                  | 86 |
| 第2章 武蔵高等工科学校時代 1929(昭和4)年9月～1941(昭和16)年12月 | 88 |
| 第1節 五反田に誕生 1929(昭和4)年9月開校                  | 88 |
| 1 学校創立の動機                                  |    |

|            |   |     |
|------------|---|-----|
| 2          | 仮校舎の確保 一校地・校舎は池上電気鉄道株式会社から借用一             |     |
| 3          | 教員確保                                      |     |
| 4          | 建学の精神                                     |     |
| 5          | 授業開始と創立記念日                                |     |
| 6          | 当時の創業精神                                   |     |
| 第2節        | 大岡山へ移転 1932(昭和7)年9月                       | 97  |
| 1          | 五島慶太翁から救いの手                               |     |
| 第3節        | 玉川等々力町(現玉堤)へ移転 1940(昭和15)年1月              | 100 |
| 1          | 移転候補地と五島慶太翁の強力な支援                         |     |
| <b>第3章</b> | <b>専門学校時代</b> 1942(昭和17)年4月～1949(昭和24)年3月 | 102 |
| 第1節        | 武蔵高等工業学校時代 1942(昭和17)年4月～1944(昭和19)年3月    | 102 |
| 第2節        | 武蔵工業専門学校時代 1944(昭和19)年4月～1949(昭和24)年3月    | 103 |
| 1          | 太平洋戦争と学徒勤労動員                              |     |
| 2          | 校長の交代と学校指導理念の大改変                          |     |
| <b>第4章</b> | <b>武蔵工業大学時代</b> 1949(昭和24)年4月～            | 105 |
| 第1節        | 大学への昇格                                    | 105 |
| 第2節        | 大学創設期の苦難と廃校の危機                            | 110 |
| 第3節        | 武蔵工業大学の再建                                 | 112 |
| 1          | 武蔵工業大学短期大学部の設置                            |     |
| 2          | 武蔵工業学園高等学校の設置                             |     |
| 3          | 定時制課程高等学校の設置                              |     |
| 4          | 法人名の変更と併設高校名の変更                           |     |
| 5          | 学校法人武蔵工業学園から学校法人武蔵工業大学へ                   |     |
| 第4節        | 西村有作から五島慶太翁へ理事長交代                         | 113 |
| 第5節        | 校歌、校旗、校章の変遷等                              | 114 |
| 1          | 創立時の校歌制定                                  |     |
| 2          | 校章のシンボル、柏の由来                              |     |
| 3          | 武蔵工業大学校歌・校章・校旗の制定                         |     |

## 第3編 五島育英会発足と慶太翁の業績

1955(昭和30)年～1967(昭和42)年

|            |                         |     |
|------------|-------------------------|-----|
| <b>第1章</b> | <b>武蔵工業大学と東横学園の合併まで</b> | 120 |
| 第1節        | 五島育英会誕生の経緯              | 120 |
| 第2節        | 学校法人武蔵工業大学の推移           | 121 |
| 1          | 創立(1929年)より1954年までの推移   |     |
| 2          | 1954年10月当時の状況           |     |
| 3          | 西村理事長の辞任と五島慶太理事長就任の経緯   |     |
| 4          | 学校法人武蔵工業大学理事会・評議員会      |     |



|                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 第3節 学校法人東横学園の推移               | 128        |
| 1 創立(1939年)より1954年までの推移       |            |
| 2 1954年10月当時の状況               |            |
| 3 学校法人東横学園評議員会(1955年1月25日)    |            |
| 第4節 学校法人五島育英会の発足              | 131        |
| 1 学校法人五島育英会寄附行為の制定            |            |
| <b>第2章 学校法人五島育英会発足後の年次業績</b>  | <b>136</b> |
| 第1節 1955(昭和30)年業績             | 136        |
| 1 学校法人五島育英会第1回理事会(5月7日)       |            |
| 2 学校法人五島育英会第1回評議員会(6月2日)      |            |
| 3 指定寄付大蔵大臣認可(3月25日)           |            |
| 4 東横学園中学校新校舎竣工(4月15日)         |            |
| 5 東横学園附属二子幼稚園園舎竣工並びに開園(4月25日) |            |
| 6 東横学園中学校、東横学園高等学校校長交代(4月30日) |            |
| 7 武蔵工業大学学長兼同大学附属高等学校校長交代      |            |
| 8 武蔵工業大学校舎第5号館竣工(5月18日)       |            |
| 9 東横学園女子短期大学設置申請(9月29日)       |            |
| 10 東横学園女子短期大学校舎竣工(12月24日)     |            |
| 11 校地校舎等増減総括(1955(昭和30)年)     |            |
| 第2節 1956(昭和31)年業績             | 143        |
| 1 東横学園女子短期大学開学(4月19日)         |            |
| 2 武蔵工業大学校舎第6号館竣工(4月21日)       |            |
| 3 法人役員・評議員の改選(5月23日)          |            |
| 4 学校法人亜細亜学園に対する援助(6月1日)       |            |
| 5 五島育英会総合運動場竣工(6月6日)          |            |
| 6 学校法人大倉山学園を吸収合併(7月1日)        |            |
| 7 学校法人玉川正和行学園を吸収合併(7月1日)      |            |
| 8 名誉理事西村有作逝去(8月22日)           |            |
| 9 武蔵工業大学運動場竣工(9月28日)          |            |
| 10 各学校の校地買収及び校舎増改築実施状況        |            |
| 11 校地校舎等増減総括(1956(昭和31)年)     |            |
| 第3節 1957(昭和32)年業績             | 153        |
| 1 武蔵工業大学工学部学科増設(4月1日)         |            |
| 2 武蔵工業大学付属高等学校定時制課程再開(4月1日)   |            |
| 3 東横学園女子短期大学家政科栄養士課程設置(4月1日)  |            |
| 4 東横学園大倉山高等学校開校(4月1日)         |            |
| 5 東横学園高等学校校舎増築竣工(6月18日)       |            |
| 6 五島育英資金制度設定(7月1日)            |            |
| 7 武蔵工業大学付属中学校校舎移転(9月1日)       |            |
| 8 五島育英会報創刊号発行(10月3日)          |            |
| 9 武蔵工業大学校舎第7号館(講堂)竣工(10月25日)  |            |



|            |                                   |            |
|------------|-----------------------------------|------------|
| 10         | 各学校校地校舎拡充                         |            |
| 11         | 校地校舎等増減総括（1957（昭和32）年）            |            |
| <b>第4節</b> | <b>1958（昭和33）年業績</b>              | <b>158</b> |
| 1          | 武蔵工業大学付属目黒高等無線学校開校（4月1日）          |            |
| 2          | 信州電波専門学校を吸収合併（4月21日）              |            |
| 3          | 法人事務局が南平台東急ビルに移転（10月）             |            |
| 4          | 東横学園二子幼稚園園舎増築竣工（12月25日）           |            |
| 5          | 各学校校地拡充                           |            |
| 6          | 校地校舎等増減総括（1958（昭和33）年）            |            |
| <b>第5節</b> | <b>1959（昭和34）年業績</b>              | <b>161</b> |
| 1          | 東横学園大倉山高等学校校舎増築竣工（3月24日）          |            |
| 2          | 武蔵工業大学工学部学科増設（4月1日）               |            |
| 3          | 武蔵工業大学校舎第8号館竣工（5月9日）              |            |
| 4          | 武蔵工業大学原子力研究所設置認可（10月7日）           |            |
| 5          | 五島慶太理事長逝去（8月14日）                  |            |
| <b>第3章</b> | <b>慶太翁の意志を後継者五島昇理事長が強力に推進</b>     | <b>173</b> |
| <b>第1節</b> | <b>法人新理事長に五島昇就任（9月2日）</b>         | <b>173</b> |
| 1          | 武蔵工業大学創立30周年記念式典（10月16日）          |            |
| 2          | 東横学園創立20周年記念式典（11月10日）            |            |
| 3          | 各学校校地拡充                           |            |
| 4          | 校地校舎等増減総括（1959（昭和34）年）            |            |
| <b>第2節</b> | <b>1960（昭和35）年業績</b>              | <b>178</b> |
| 1          | 武蔵工業大学学長兼同大学付属中学校・高等学校校長交代（2月25日） |            |
| 2          | 武蔵工業大学校舎第9号館新築及び第5号館増築竣工（3月1日）    |            |
| 3          | 各学校校地等取得                          |            |
| <b>第3節</b> | <b>1961（昭和36）年業績</b>              | <b>179</b> |
| 1          | スポーツ振興寄付金（1月30日）                  |            |
| 2          | 故五島慶太胸像除幕式（2月3日）                  |            |
| 3          | 用賀東横学園幼稚園廃止（3月31日）                |            |
| 4          | 武蔵工業大学付属東急テレビ技術学校開校（4月1日）         |            |
| 5          | 武蔵工業大学付属中学校・高等学校校長交代（4月1日）        |            |
| 6          | 武蔵工業大学付属信州工業高等学校開校（4月23日）         |            |
| 7          | 五島育英会運動場竣工（5月12日）                 |            |
| 8          | 武蔵工業大学付属信州工業高等学校本館竣工（8月4日）        |            |
| 9          | 武蔵工業大学校舎第10号館及び金属加工実験棟竣工（9月8日）    |            |
| 10         | 武蔵工業大学原子力研究所開所（10月31日）            |            |
| 11         | 各学校校地等取得                          |            |
| 12         | 校地校舎等増減総括（1961（昭和36）年）            |            |
| <b>第4節</b> | <b>1962（昭和37）年業績</b>              | <b>188</b> |
| 1          | 東横学園女子短期大学集団給食実験棟等竣工（6月14日）       |            |
| 2          | 校地校舎等増減総括（1962（昭和37）年）            |            |

|  |     |
|--|-----|
| 第5節 1963(昭和38)年業績                      | 188 |
| 1 武蔵工業大学原子力研究所完成披露会(3月21日)             |     |
| 2 武蔵工業大学附属信州工業高等学校講堂等竣工(3月26日)         |     |
| 3 武蔵工業大学附属目黒高等無線学校信州分校廃止(3月31日)        |     |
| 4 東横学園小学校校舎新築移転(8月21日)                 |     |
| 5 東横学園女子短期大学校舎増築竣工(9月7日)               |     |
| 6 武蔵工業大学附属信州工業高等学校本館増築竣工(9月20日)        |     |
| 7 各学校校地等取得                             |     |
| 8 校地校舎等増減総括(1963(昭和38)年)               |     |
| 第6節 1964(昭和39)年業績                      | 191 |
| 1 東横学園大倉山高等学校校舎増築竣工(4月1日)              |     |
| 2 武蔵工業大学附属中学校、高等学校校舎新築移転(4月4日)         |     |
| 3 武蔵工業大学附属信州工業高等学校実験棟竣工(4月10日)         |     |
| 4 武蔵工業大学寮(柏和寮)竣工(4月30日)                |     |
| 5 法人会長に五島昇、理事長に唐澤俊樹就任(9月30日)           |     |
| 6 東横学園高等学校校舎本館竣工(9月2日)                 |     |
| 7 各学校校地等取得                             |     |
| 8 校地校舎等増減総括(1964(昭和39)年)               |     |
| 第7節 1965(昭和40)年業績                      | 195 |
| 1 東横学園茶室(五島和敬庵)竣工(2月18日)               |     |
| 2 東横学園野川幼稚園園舎竣工(3月12日)                 |     |
| 3 武蔵工業大学附属高等学校定時制課程廃止(3月31日)           |     |
| 4 武蔵工業大学附属目黒高等無線学校及び東急テレビ技術学校廃止(3月31日) |     |
| 5 東横学園野川幼稚園開園(4月6日)                    |     |
| 6 五島育英会海の家開設(7月1日)                     |     |
| 7 八ヶ岳山荘竣工(7月30日)                       |     |
| 8 武蔵工業大学校舎第11号館竣工(9月17日)               |     |
| 9 各学校校地等の取得及び一部処分                      |     |
| 10 校地校舎等増減総括(1965(昭和40)年)              |     |
| 第8節 1966(昭和41)年業績                      | 198 |
| 1 東横学園女子短期大学文科校舎竣工(3月30日)              |     |
| 2 東横学園女子短期大学学科増設(4月1日)                 |     |
| 3 武蔵工業大学大学院修士課程設置(4月1日)                |     |
| 4 東横学園等高校以下の専任校長就任(4月1日)               |     |
| 5 東横学園女子短期大学寮(姿見寮)竣工(4月5日)             |     |
| 6 武蔵工業大学校舎新本館竣工(5月11日)                 |     |
| 7 武蔵工業大学原子力研究所長交代(11月16日)              |     |
| 8 法人用地一部処分                             |     |
| 9 校地校舎等増減総括(1966(昭和41)年)               |     |
| 第9節 1967(昭和42)年業績                      | 200 |
| 1 唐澤俊樹理事長逝去(3月14日)                     |     |

- 2 五島育英会理事長に星野直樹就任（5月31日）
- 3 東横学園大倉山高等学校新本館建設（3月17日起工）
- 4 武蔵工業大学図書館等建設（5月19日起工）
- 5 信州工業高等学校校舎中央館建設（6月1日）
- 6 東横学園女子短期大学家政科校舎新本館建設（9月16日）

## 第4編 慶太翁の夢を追う 1968（昭和43）年～

|   |     |
|---|-----|
| <b>第1章 武蔵工業大学附属原子力研究所</b> .....           | 208 |
| 第1節 最先端研究炉の臨界.....                        | 208 |
| 第2節 原子炉の共同研究と廃炉、そして学科新設、早稲田大学との共同大学院..... | 211 |
| 第3節 東京都市大学原子力研究所のあゆみ.....                 | 212 |
| <b>第2章 環境情報学部の開設</b> .....                | 213 |
| 第1節 総合大学へ新たな一歩.....                       | 213 |
| 1 大学グループの在り方の答申書（一貫教育委員会）                 |     |
| 2 理工学部の新設計画                               |     |
| 3 両大学の緊密化研究会の発足と答申（学部学科の再編と新增設）           |     |
| 4 千歳市から大学の誘致                              |     |
| 5 設置基準（校地・校地基準面積）の壁と新学部の校地探し              |     |
| 6 新学部設置の本格化                               |     |
| 第2節 横浜キャンパスの完成.....                       | 220 |
| 1 エコロジカルキャンパス                             |     |
| 2 環境情報学部の開学式典                             |     |
| 3 その後の横浜キャンパスの動向                          |     |
| 4 現在の横浜キャンパスの概要（2012年5月1日現在）              |     |
| <b>第3章 武蔵工大校地面積の変遷と総合グラウンド</b> .....      | 228 |
| 1 1991（平成3）年当時                            |     |
| 2 新丸子東急グラウンドの返却                           |     |
| 3 環境情報学部の新設                               |     |
| 4 鷺沼運動場の返却と横浜キャンパス隣接地（運動場）の購入             |     |
| 5 2003（平成15）年 大学設置基準の校地基準改正               |     |
| 6 幼稚園から大学までの総合運動会                         |     |
| 7 都市大グループの象徴的総合グラウンドの開設                   |     |
| <b>第4章 五島記念館の建設と慶太翁胸像の建立</b> .....        | 236 |
| 1 武蔵工業大学研究棟（第1期）新築工事                      |     |
| 2 五島記念館（研究棟第2期工事）と五島慶太翁の胸像建立              |     |
| 3 五島記念館の竣工式並びに五島慶太翁の胸像除幕式                 |     |
| <b>第5章 東京都市大学グループ各校の校舎等新築、増改築状況</b> ..... | 247 |

|  |     |
|--|-----|
| <b>第6章 東京都市大学グループの誕生 = 名称変更と総合大学化</b> .....      | 275 |
| 第1節 名称統一検討委員会（名称統一の動き）.....                      | 275 |
| 第2節 様々な学校改革の流れ.....                              | 277 |
| 1 武蔵工業大学 環境情報学部の新設                               |     |
| 2 武蔵工業大学工学部の3学科設置                                |     |
| 3 東横学園女子短期大学に言語コミュニケーション学科を新設（国語国文学科及び英語英文学科の統合） |     |
| 4 付属信州工業から第二高等学校へ名称変更（電子家庭科の募集停止と情報マルチメディア科新設）   |     |
| 5 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻設置認可                         |     |
| 6 環境情報学部の第2学科（情報メディア学科）の新設                       |     |
| 7 工学部の学科及び大学院専攻の名称変更                             |     |
| 8 工学部の学科名称の変更                                    |     |
| 9 短大の言語コミュニケーション学科の募集停止、保育学科の新設                  |     |
| 10 職員子女の授業料減免の廃止と入学金免除の制定                        |     |
| 11 原子力研究所の廃炉を決定                                  |     |
| 12 短大の生活学科をライフデザイン学科へ名称変更                        |     |
| 13 東横学園高等学校と東横学園大倉山高等学校の統合                       |     |
| 14 武蔵工大第二高校の情報電気科の募集停止と情報通信科から総合電気電子システム科への変更    |     |
| 15 東横学園高校の英語留学コースの設置                             |     |
| 16 武蔵工業大学の学部学科再編成                                |     |
| 17 工学部原子力安全工学科の新設と学科の名称変更                        |     |
| 第3節 第2次緊密化委員会の発足と答申（名称統一の加速）.....                | 280 |
| 第4節 新大学名の決定と周知.....                              | 282 |
| 第5節 大学名の商標登録.....                                | 287 |
| 第6節 東京都市大学V I 戦略.....                            | 289 |
| <b>第7章 東急自動車学校と東急自動車整備専門学校</b> .....             | 292 |
| 第1節 学校法人東急自動車学校の設置認可.....                        | 292 |
| 第2節 五島慶太会長の夢 ― 将来は「交通大学」へ ― .....                | 294 |
| 第3節 東急自動車学校が五島ローズガーデン跡に移転.....                   | 295 |
| 第4節 東急自動車学校整備科の開設（後の東急自動車整備専門学校の前身）.....         | 296 |
| 第5節 学校法人五島育英会と学校法人東急自動車学校との合併.....               | 297 |
| 第6節 東急自動車学校の唐木田移転と東急自動車整備専門学校の閉校.....            | 298 |
| 1 自動車学校の立地は昭和32年世田谷区の「都市計画公園」に指定されていた            |     |
| 2 東急自動車学校（東急ドライビングスクール）開校式                       |     |
| 3 東急自動車整備専門学校閉校式                                 |     |
| <b>第8章 五島育英会と亜細亜学園の協力関係</b> .....                | 304 |
| 第1節 慶太翁が亜細亜学園の経営を引受けた経緯と状況.....                  | 304 |
| 第2節 五島育英会が亜細亜学園の法人業務を代行 1956（昭和31）年以降.....       | 308 |
| 第3節 五島育英会と亜細亜学園との合同進学相談コーナー.....                 | 323 |

## 第2部 五島慶太伝

---

|                |     |
|----------------|-----|
| プロローグ          | 332 |
| 生い立ち           | 332 |
| 官僚から実業界に転身     | 334 |
| 大東急の実現、傘下に百数十社 | 335 |
| 戦中と戦後          | 337 |
| 五島育英会がスタート     | 339 |
| 育英・文化事業への情熱    | 341 |
| 壮大な事業プランを実現    | 342 |

## 追補 慶太翁をもっと知る

---

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 1) 五島育英会報「巻頭言」集         | 346 |
| 2) 五島慶太翁著作本・関連図書・社内誌記事等 | 356 |
| 3) 素顔の慶太翁               | 359 |
| 4) 五島慶太翁の父母の愛情と期待       | 368 |
| 5) 現在も保存されている五島慶太翁の生家   | 370 |
| 6) 五島慶太翁と大船観音           | 373 |
| 7) 五島慶太翁略譜              | 376 |

## 資料編

---

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 1) 寄附行為                | 380 |
| 2) 歴代理事長               | 386 |
| 3) 歴代専務理事              | 391 |
| 4) 歴代常務理事              | 392 |
| 5) 役員名簿                | 393 |
| 6) 評議員名簿               | 394 |
| 7) 沿革                  | 395 |
| 8) 事務組織図               | 413 |
| 9) 設置学校の在 student 数等一覧 | 414 |
| 10) 設置学校の卒業生数一覧        | 416 |
| 11) 設置学校の沿革と歴代学長・校長・園長 | 417 |
| 12) 五島育英基金規程           | 423 |
| 13) 五島育英基金取扱要領         | 424 |
| 14) 五島育英基金取扱内規         | 427 |
| 15) 五島育英基金給費状況         | 430 |

|      |     |
|------|-----|
| あとがき | 432 |
|------|-----|

## コラム一覧

---

|  |     |
|--|-----|
| 東急スクールバス   | 153 |
| 武蔵工業大学30年史(第5章第4節)に見る 昭和30年代の総合大学への夢                 | 177 |
| 慶太翁胸像の設置場所について(等々力中高)                                | 183 |
| 武蔵工大校舎増改築10ヵ年計画の完了と更なる飛躍に向けた建築が進む                    | 204 |
| (1) 本格的な図書館棟が完成(旧図書館5号館)                             | 204 |
| (2) 写真で見る建築の推移 —1955(昭和30)年~1969(昭和44)年—             | 205 |
| 慶太翁と桜(1)   | 226 |
| 慶太翁と桜(2)   | 227 |
| 五島慶太翁の胸像   | 240 |
| 1 東京都市大学等々力中学校・高等学校の胸像<br>—1961(昭和36)年2月3日に除幕式を挙行—   | 240 |
| 2 東京都市大学塩尻高等学校の胸像<br>—1964(昭和39)年4月1日に除幕式を挙行—        | 241 |
| 3 東京都市大学世田谷キャンパスの胸像<br>—1994(平成6)年3月4日に除幕式を挙行—       | 242 |
| 4 東京急行電鉄本社前の胸像                                       | 243 |
| 5 北見工業大学校内の胸像<br>—1961(昭和36)年10月9日に除幕式を挙行—           | 243 |
| 6 静岡鉄道(清水市狐ヶ崎の国師堂脇の胸像)<br>—1963(昭和38)年10月20日に除幕式を挙行— | 244 |
| 7 長野県小県郡青木村(日吉神社殿戸資料館前の胸像)                           | 245 |
| 8 東横神社境内(非公開)の胸像(横浜市港北区大倉山2-10-2)                    | 246 |
| 東京都市大学グループ校地の借地比率                                    | 274 |
| 東京都市大学が東急グループ会社表彰                                    | 291 |

## トピックス

---

|  |     |
|--|-----|
| 五島育英会の総合グラウンド<br>1956(昭和31)年に幼稚園から大学までの大運動会を開催 | 231 |
|--|-----|